

「第2回 岩原川エリアの未来を考えるワークショップ」開催！

●第2回はどんなことをしたの？

旧恵美須・大黒市場跡の岩原川周辺について、今後のまちづくりを市民の皆さんと一緒に考えるワークショップ。第2回は21名の市民の方にご参加頂き、岩原川エリアの10年後の将来像と、それを実現するために必要な取り組みについて、各班でカードを使いながら、3年、5年、10年後の時間の流れでストーリーにまとめました！



A班



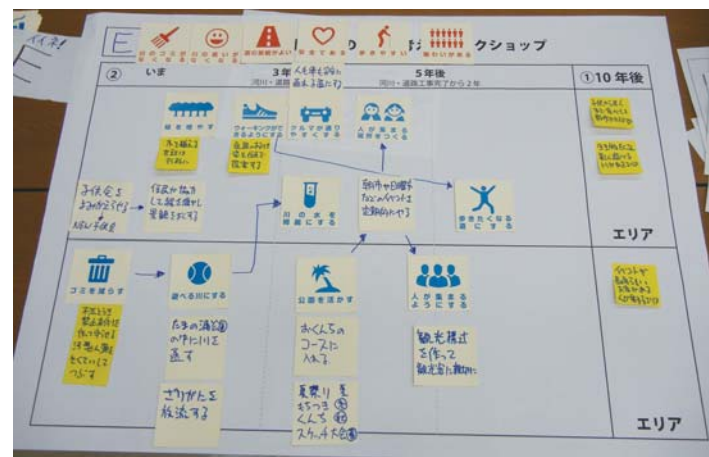
B班



C班



D班

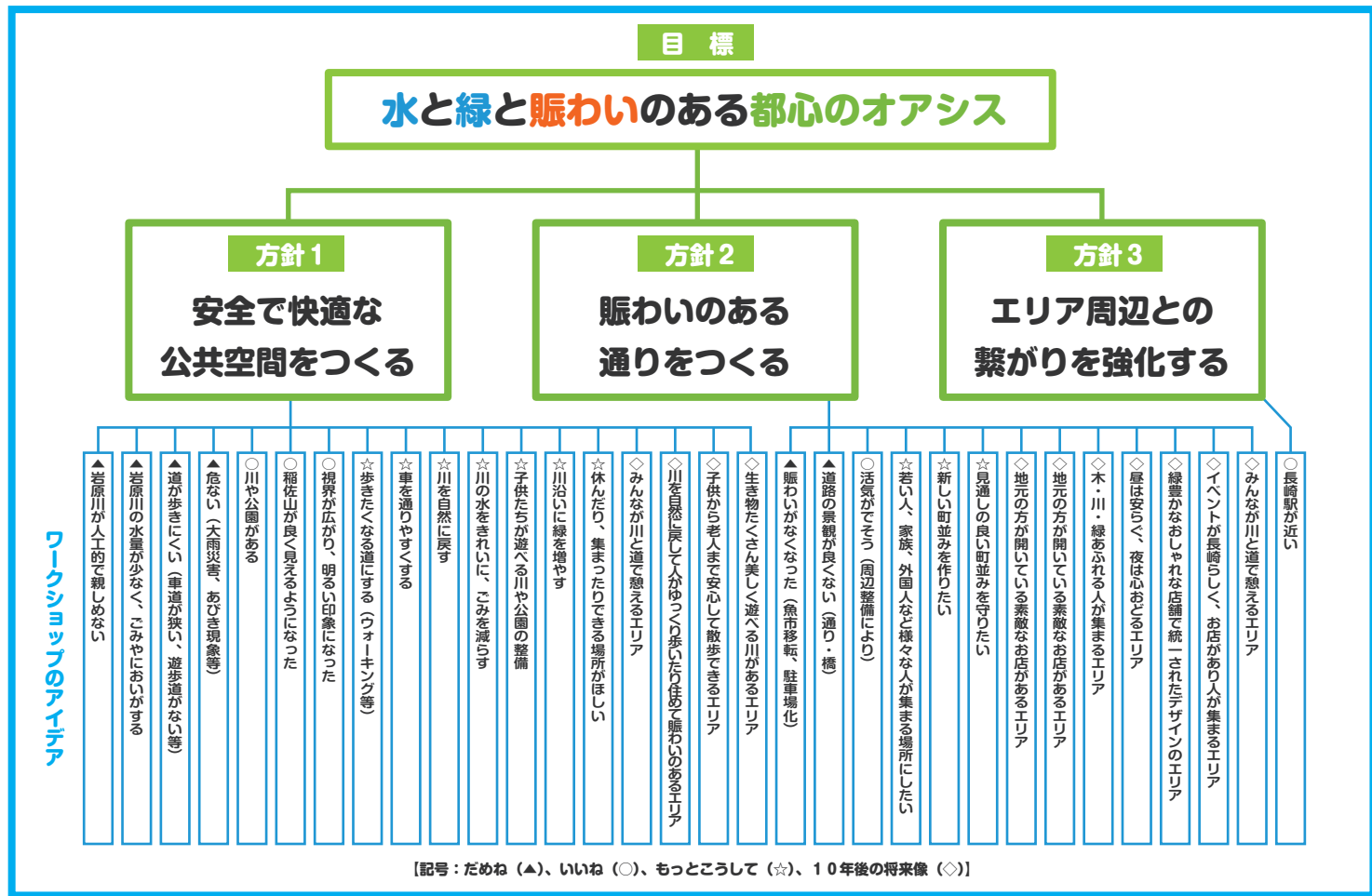


E班



F班

ワークショップ成果から岩原川エリアみらい計画（案）を作成！



岩原川エリアみらい計画

●岩原川エリアみらい計画とは？

岩原川エリアの周辺は、今後10年間で大きく変化します。それに伴い、長崎駅や新県庁舎に近い立地条件から、多くの市民・県民、観光者が訪れる機会が増えることが予測されます。この変化をうまく取り込み、エリアの価値を高めることは、地域はもちろん長崎市全体にとっても重要です。この機会を最大限に活かすため、今後10年間の岩原川周辺のまちづくりを地域の方々や市民の皆さんと一緒に進めるために計画を行うものです。

●目標「水と緑と賑わいのある都市のオアシス」

岩原川周辺は、長崎魚市の郊外移転によってかつての活力や賑わいが低下してきています。また、新幹線駅舎や新たな県庁・市役所の建設、新大工から東山手に至る歴史あるまちなかの再生といった取り組みにより、長崎のまちの形が今後10年で大きく

変わります。

こうした中で、長崎駅からまちなかへの動線上に位置するメリットを最大限に生かし、岩原川の水辺や公園のみどり、稲佐山を望む景観など地域住民共通の資産を見つめ直し、地域の安全性を高め、快適に歩くことができるルートづくりや豊かな緑、オープンスペースの確保により、潤いと賑わいのあるまちを目指します。

◎ワークショップデータ◎

日程：平成25年9月12日(木)

時間：19:00-21:00

会場：長崎市社会福祉会館

人数：21名

テーマ：岩原川エリアの10年後を想像しよう！